



～まちづくりをみんなで～ 高橋よしのぶ 議会報告

2015年1月号

—— 発行 ——
高橋よしのぶ後援会
安中市岩井970-4
TEL 027-381-1910

<http://www5.wind.ne.jp/t-yoshinobu>



あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は2月の大雪を始め、広島の土石流災害、御嶽山の噴火、長野県白馬村の震災など大きな災害をもたらした出来事が続きました。

そのような中、私は、一昨年より議会において防災計画の見直し、避難所や物資の整備、そして災害時支援者名簿の作成や自主防災組織の結成等について質しました。

現在、防災に関する整備は、まだまだ不十分ですが、今後も安全安心なまちづくりのため、皆様と共に頑張ってお参りたいと存じます。

皆様のご意見、ご要望をぜひ、お聞かせください。

2015年1月吉日

安中市議会議員 高橋由信

公選法の定めにより本後援会報をもって新年のご挨拶に代えさせていただきます。

12月議会報告

防災対策・危機管理体制について

市議会十二月定例会は十二月十日から二十二日までの日程で開かれました。十九日の一般質問に高橋議員が質問に立ち、防災対策について、危機管理体制について執行部の考えを質しました。

員の配置を心がける。

【問】雪害対策について9月議会でも取り上げたが、その後どのような協議が行われたのか？

【答】各部署から雪害時の状況、問題点、対策を市長へ提出、集約した。国交省・県等により策定された道路除雪計画を基に会議を開いている。

【問】除雪体制の強化について、県内の道路除雪他体制はどのようになっているのか？

【答】7月に国交省、県を中心に市町村、県警、建設業協会等をメンバーとする道路除雪会議が設立された。その後、四回会議が行われた。会議の成果として北毛地域より西毛地域に除雪車の配置換えが行なわれ、除雪体制が強化された。



12月16日の除雪訓練の様子

【問】2月の大雪では除雪出来ない高齢者、生活弱者に対する除雪は、住民の共助の精神で行われた。今後、ボランティアさんを募集すべきだと思いませんか？

【答】指示命令系統や事故対応等の問題も含め、今後、検討したい。

【問】今後の予定は？

【問】現状、市民参加型の避難訓練はどのような形で行われているのか？
【答】平成二十五年に横川地区では大雨を想定して、土砂災害の危険性を判断、指定避難所へ避難する訓練を行った。
【要望】横川地区から避難所に関する請願が提出された。地域の防災を自ら考え、危険箇所を研究し、地域の防災マップを作り上げた。
【答】横川をモデルケースとして市内に広げていただくよう要望する。

【問】2月の大雪の際、避難所指定の公民館に3時間かけて出勤した職員もいた。自宅から近い公民館に出勤するようにする、避難所の鍵を所持する職員の選定、その他改善すべき点があるとと思われるがどうか？
【答】できるだけ避難所に近い職員を配置しているが、所属部署・役職を考慮しての配置のため、中には遠くから向わなければならない者もいる。今後、可能な限り避難所に近く、開設しやすい職員

この他、
・女性の意見を取り入れた避難所の運営について
・大雪災害時の救援体制について
・大雪に対する準備について
・国、県、市の連携について
・危機管理体制の現状について
以上の各項目について質問を致しました。



高橋よしのぶ 4年間の一般質問

平成二十三年六月定例会

1. 安中市の防災計画について
 - ① 防災対策について
 - ② 安中市災害時要援護者避難支援計画について
2. 乗合タクシーの運行方法の見直しについて
 - ① 主な目的
 - ② 具体的な対応
 - ③ 終了後の対応

平成二十三年九月定例会

1. 地域防災計画について
 - ① 各項目の具体的な進捗状況について
 - ② 防災無線の活用について
 - ③ AEDの設置状況について
2. 学校の防災対策について
 - ① 防災教育について
 - ② 災害時の対応について
3. 地域防災計画の見直しについて
 - ① 見直しに対する考えについて
 - ② 市長の考えについて

平成二十四年三月定例会

1. 産業廃棄物処分場設置計画について
 - ① 設置計画に対する市の考えと対応について

平成二十四年九月定例会

1. 障がい者の支援について
 - ① 災害時要援護者の避難支援体制の進捗状況について
2. 市内公共施設のバリアフリー化について
 - ① 本市での廃棄物処理場計画について
 - ② 設置計画に対する市の対応について
 - ③ 今後の対応について

平成二十五年三月定例会

1. 県桑園跡地利用について
 - ① 現状について
 - ② 地元住民への説明について
2. 公害防除特別土地改良事業について
 - ① これまでの経過について
 - ② アンケート調査について
 - ③ 客土材について
3. 市民活動の推進について
 - ① NPO・ボランティア活動の社会的役割について
 - ② 活動支援について

平成二十五年六月定例会

1. 地域防災計画について
 - ① 災害の想定について
 - ② 防災計画の見直しについて
 - ③ 災害時協定について
 - ④ 今後について
2. 残土埋め立てに関する条例について
 - ① 県条例に対する本市の考え方について
 - ② 本市における条例制定について

平成二十五年十二月定例会

1. 公立碓氷病院について
 - ① 経営改善について
 - ② 医師の確保について
 - ③ 今後について
2. 群馬県土砂等による埋立て等の規制に関する条例について
 - ① 本市の対応について
 - ② 本市の条例制定について
3. 鉄道文化むらトロコ列車の延伸計画について
 - ① 基本計画について
 - ② 安全性について
 - ③ 事業費について
 - ④ 今後の計画について

平成二十六年九月定例会

1. 本市における太陽光発電設置状況について
 - ① 市内の民間開発による設置及び計画の状況について
 - ② 条例の制定について
 - ③ 岩野谷地区に予定の大規模太陽光発電設置について
2. 地域防災計画の見直しについて
 - ① 見直しの内容について
 - ② 雪害の対応について
 - ③ 実施計画について
3. 危機管理体制の強化に向けての機構改革について
 - ① 現体制について
 - ② 機構改革について
4. 要援護者支援について
 - ① 名簿の作成及び個別支援計画について
 - ② 条例制定について

市議会の議事録につきましては市議会ホームページにて公開されています。

市政Topics

碓氷峠で 県内初の除雪訓練を実施

市議会一般質問において雪害対策について取り上げましたが、昨年のお大雪の際の関係機関の連携の不手際を改善すべく、様々な取り組みが始まりました。

12月16日には国交省、県、市、県警、建設業協会などの関係機関により国道18号碓氷バイパスを想定として初の除雪訓練を実施されました。



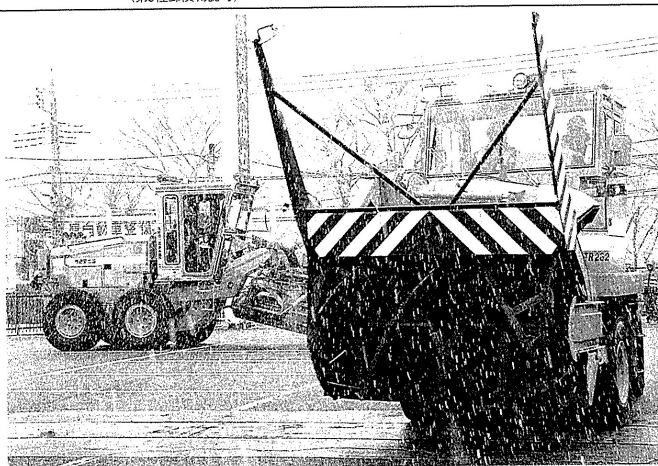
(第3種郵便物認可)

東

交通網、寸断防げ

2月の安中で道路除雪訓練 災害教訓

今年二月の記録的大雪に 道路管理者や関係機関が設置した県道路除雪会議による災害を教訓に、県内の



除雪作業に出発する除雪車＝安中市で

初めての道路除雪訓練が十六日、碓氷峠鉄道文化むら（安中市松井田町横川）駐車場などで行われた。二月の大雪の際、国道18号碓氷バイパスには一層近い降雪があり、数日間には往たりトラックなどの立ち往生が続いた。除雪の遅れから交通網が寸断されて物流も途絶え、市民生活に大きな影響が出た。教訓を踏まえ、七月に国土交通省、県、県警、各市町村などで構成する県道路除雪会議が発足した。会議では、大雪の際の課題や対応を協議。社会と経済活動への影響を最小限にとどめるため、管轄道路にとらわれない効率的な除雪、県北部から除雪機の少ない県南部への移動配備、操縦者や雪捨て場の確保などを盛り

込んだ行動計画を策定した。訓練には、百六十人が参加。大雪警報が発令されて、各機関が大雪時の除雪体制に移行したとの想定で実施した。要請に応じて、碓氷バイパスや安中市内の除雪に向けて、みなかみ町の除雪車の車両基地などから大型除雪車五台が集結。集中除雪のため、交通規制と放置車両を移動する実動訓練をした。訓練を見守った茂木英子安中市長は「国・県・市の連携による道路除雪訓練が実施でき大変有意義だった。今後とも関係機関との連携態勢を強化していきたい」と話した。

(樋口聡)

東京新聞
2014年12月17日